

理研シンポジウム

## 科学技術と社会：人工知能の社会受容性と研究者の役割を中心に

開催日時：2019年9月11日(水) 9:30 - 11:30

場 所：立命館大学大阪いばらきキャンパス A 棟 2 階:第 7 会場 AC232

主 催：科学技術と社会チーム

共 催：日本心理学会第 83 回大会

協 賛：ヒューマンインタフェース学会

\*\*\*\*\*

本シンポジウムでは、科学技術と社会との関わり、とりわけ、人工知能(AI)技術を取り上げ、社会受容性の課題と研究者の役割について学際的に検討する。

近年、労働人口の減少や働き方を見直す社会の動きも相まって、AI 技術に対する期待はこれまでにない高まりを見せている。一方で、都市と地方、資産・情報を持つ者と持たない者、多数派と少数派など、多様な社会では科学技術がもたらす影響は一律ではない。社会に受容される科学技術とするためにはこれまで以上に行動科学や社会科学との連携アプローチが重要となるだろう。

本シンポジウムでは、3領域の話題提供者(情報工学 武田英明氏、法情報学 角田篤泰氏、科学技術社会論 佐倉統氏)から、科学技術の社会受容性と課題についてご紹介いただき、指定討論者(認知心理学 原田悦子氏)とともに、課題解決のための連携ポイント、研究者の関わり方について議論する。

今回の議論を通じ、AI 技術の社会受容性について人間側の視点の重要性を広めていく。

\*\*\*\*\*

9月11日(水)

9:30-11:00:話題提供【司会:羽瀨由子(徳山大学)】

- ① 人工知能の倫理をめぐる活動と関わる学会の役割:武田英明(国立情報学研究所)
- ② 法とITのインターフェース:角田篤泰(中央大学)
- ③ 人と社会と人工知能技術の関係における倫理:佐倉 統(東京大学/理化学研究所 AIP センター)

11:00-11:30:討論【司会:福住伸一(理化学研究所 AIP センター)】

指定討論者:原田悦子(筑波大学)

\*\*\*\*\*

[問い合わせ先]

国立研究開発法人理化学研究所 AIP センター科学技術と社会チーム

〒103-0027 東京都中央区日本橋 1-4-1 日本橋一丁目三井ビルディング 15F

Tel.: 03-6225-2482

e-mail: shin-ichi.fukuzumi@riken.jp

[参加申し込み]

日本心理学会第83回大会 HP をご参照ください

<http://jpa2019.com/join.html>

\*\*\*\*\*